

令和7年度 学校要覧



福島県立会津支援学校竹田校 (病弱・虚弱教育)

〒965-0876 福島県会津若松市山鹿町3番27号(竹田総合病院内)

電話 (0242) 28-0640 FAX (0242) 26-4541

URL <https://aizu-sh-takeda.fcs.ed.jp>

mail aizu-sh-takeda@fcs.ed.jp

【本校】 福島県立会津支援学校 (知的障がい教育)

〒965-0006 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原102番地

電話 (0242) 32-2242 FAX (0242) 32-6079

竹田校の歌

「あしたに向かって」

作詞 赤塚 幹典
作曲 佐藤 玲子
平成4年11月制定



てんにそび ゆ る ば ん だい の



お お し き す ー が た あ お ー ぎ み て



こころをひろ く た く ま し く つ



よ ー い ち から を そ だ て ま す げん



き な こ え が う ー た に な り あ



か る い あ し た に こ だ ま す る

三

二

一

竹田の仲間が
希望の明日が
待っている

丈夫なからだを
力の限り
たゆまずに
作ります

燃える紅葉に
飯豊の峰に
浮かぶ雲

伸びゆく明日が
開けてくる

豊かな心を
育てます

会津の里を見守りて
歴史を語る鶴ヶ城

元気な声が
歌になり
明るい明日に
こだまする

強い力を
育てます

雄々しき姿
仰ぎ見て

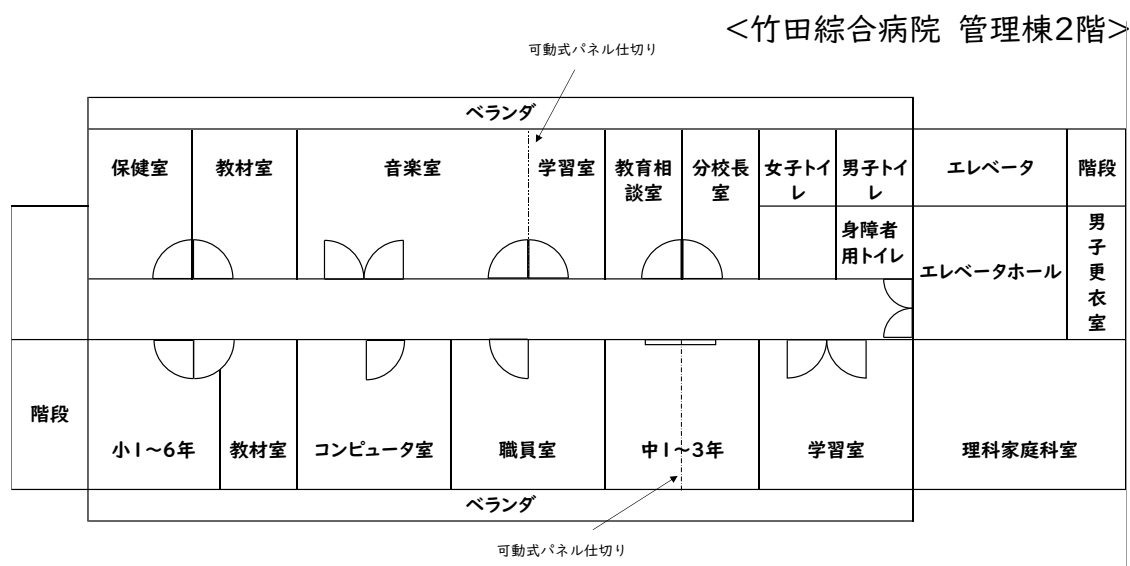
天にそびゆる磐梯の

目 次

1	学校平面図および位置	1
2	沿革	2
3	教育目標	4
4	学校経営・運営ビジョン	5
5	教育課程	6
6	年間授業時数	8
7	日課表	9
8	年間学校行事予定	11
9	教職員組織	13
	(1) 教職員数	13
	(2) 教職員一覧	13
	(3) 校務組織・分掌	14
10	児童・生徒の現況	15
11	防火体制計画	16
12	P T Aの沿革・代表役員	17



Ⅰ 学校平面図および位置



建物総面積（ベランダ含む） 460.35㎡

〔位 置〕

① 学校名

福島県立会津支援学校竹田校

② 所在地

〒965-0876 福島県会津若松市山鹿町
3番地27号
(竹田総合病院内)

③ 電話番号 0242(28)0640

④ FAX 0242(26)4541

⑤ 交通案内

バ ス 駅前バスターミナルから
会津高田行(年貢町経由を除く)、
会津本郷行乗車
所要時間約15分 竹田病院前下車

自家用車 磐越自動車道・会津若松インターより
約15分

徒 歩 JR会津若松駅より 約40分



2 沿革

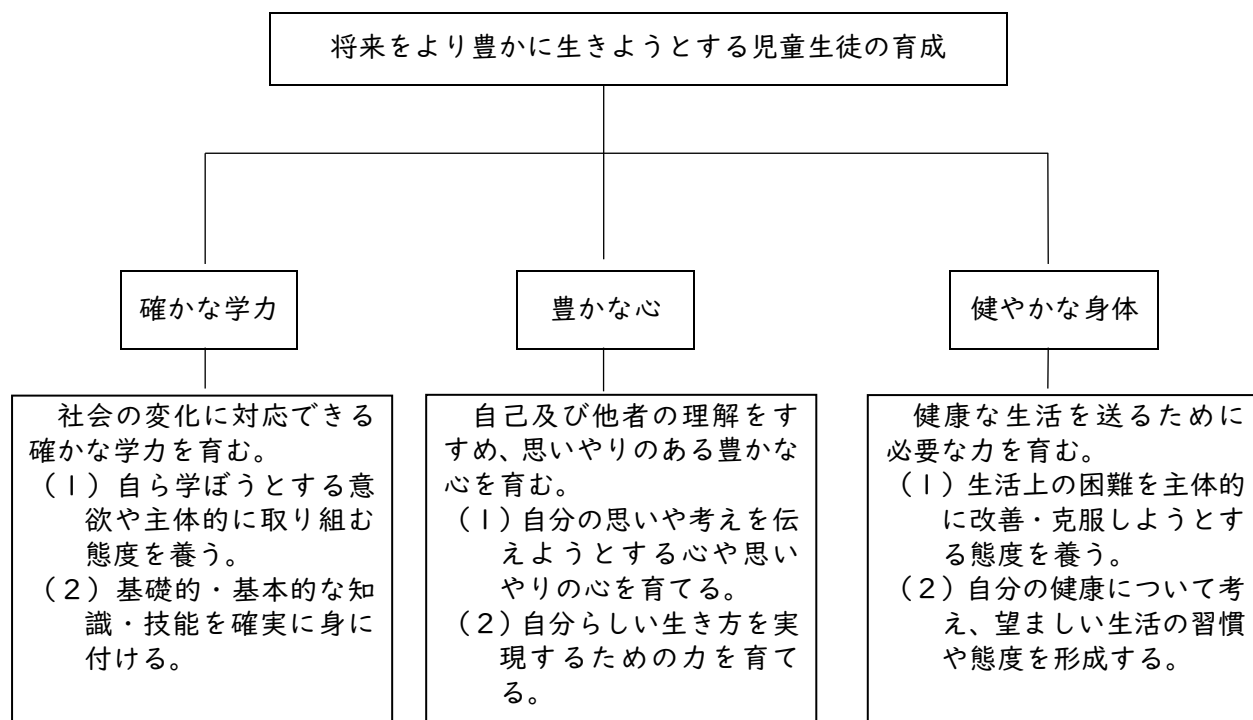
- (1) 昭和41年 6月25日 会津若松市山鹿町3-27 竹田綜合病院内に会津若松市立謹教小学校竹田分室（ベッドスクール）として開設(1学級認可)
- (2) 昭和45年 4月 1日 会津若松市山鹿町3-27 竹田綜合病院内に会津若松市立第三中学校の病弱特殊学級として認可、教員3名配置。
- (3) 昭和50年 4月 1日 小学部3学級(病虚弱、肢体不自由教育)の認可、教員4名配置。
- (4) 昭和53年 4月 1日 財団法人竹田綜合病院内ベツトスクールが県移管となり、福島県立須賀川養護学校竹田分校となる。
- 初代校長 金沢 里司 着任
(初代分校長) 安藤 哲夫 着任
- (5) 昭和53年 5月 8日 福島県立須賀川養護学校竹田分校の開校式を挙行。
来賓・松平勇雄知事来校
- (6) 昭和56年 4月 1日 第二代校長 郡司 梧郎 着任
- (7) 昭和57年 4月 1日 (第二代分校長) 加藤 敏 着任
- (8) 昭和58年 4月 1日 第三代校長 西谷地 金成 着任
- (9) 昭和60年 4月 1日 (第三代分校長) 野中 恒男 着任
- (10) 昭和61年 4月 1日 第四代校長 渡部 政男 着任
- (11) 昭和62年 4月 1日 (第四代分校長) 柴山 進 着任
- (12) 平成元年 4月 1日 第五代校長 小室 昭 着任
- (13) 平成元年 4月 1日 (第五代分校長) 大久 雄一郎 着任
- (14) 平成2年 4月 1日 福島県立会津養護学校の開設により、福島県立須賀川養護学校竹田分校から福島県立会津養護学校竹田分校となる。
- 初代校長 橋本 政一 着任
- (15) 平成3年 4月 1日 (第六代分校長) 赤塚 幹典 着任
- (16) 平成4年 4月 1日 第二代校長 丹野 功一 着任
- (17) 平成5年 4月 1日 (第七代分校長) 武藤 哲 着任
- (18) 平成6年 4月 1日 第三代校長 村上 修 着任
- (19) 平成8年 4月 1日 第四代校長 遠藤 算彦 着任
- (20) 平成8年 4月 1日 (第八代分校長) 瓜生 良男 着任
- (21) 平成10年 4月 1日 第五代校長 峯岸 和雄 着任
- (22) 平成12年 4月 1日 第六代校長 渡邊 孝夫 着任
- (23) 平成13年 4月 1日 (第九代分校長) 久保木 勇三 着任
- (24) 平成14年 4月 1日 第七代校長 高山 紀代子 着任
- (25) 平成15年 4月 1日 (第十代分校長) 武田 吉之助 着任
- (26) 平成16年 4月 1日 第八代校長 阪路 裕 着任
- (27) 平成18年 4月 1日 第九代校長 折笠 悦男 着任
- (28) 平成18年 4月 1日 (第十一代分校長) 日高 裕志 着任
- (29) 平成20年 4月 1日 第十代校長 山崎 亨 着任
- (30) 平成20年 4月 1日 (第十二代分校長) 江尻 修 着任

- (31) 平成22年 4月 1日 第十一代校長 真部 知子 着任
- (32) 平成22年 4月 1日 (第十三代分校長) 阿部 和行 着任
- (33) 平成24年 4月 1日 第十二代校長 紺野 登喜子 着任
- (34) 平成25年 4月 1日 (第十四代分校長) 渡邊 周二 着任
- (35) 平成26年 4月 1日 第十三代校長 芳賀 孝美 着任
- (36) 平成28年 4月 1日 第十四代校長 神田 豊 着任
- (37) 平成28年 4月 1日 (第十五代分校長) 梅津 幸男 着任
- (38) 平成29年 4月 1日 福島県立会津養護学校竹田分校から福島県立会津支援学校竹田校へと校名変更となる。
- (39) 平成30年 4月 1日 第十五代校長 杉山 裕恵 着任
- (40) 平成31年 4月 1日 第十六代校長 伊藤 俊幸 着任
- (41) 平成31年 4月 1日 (第十六代分校長) 大和田 浩 着任
- (42) 令和 3年 4月 1日 第十七代校長 加藤 香洋 着任
- (43) 令和 3年 4月 1日 (第十七代分校長) 江見 浩二 着任
- (44) 令和 6年 4月 1日 第十八代校長 猪俣 康彦 着任
- (45) 令和 7年 4月 1日 (第十八代分校長) 佐々木 文枝 着任

3 教育目標

1 教育目標

児童生徒一人一人の病気や障がいに応じた教育により確かな学力を育み、自他を尊重する豊かな心と健やかな身体を養い、社会の変化と向き合いながら将来をより豊かに生きようとする調和のとれた人間の育成に努める。



2 重点目標

- (1) 各教科等の指導において、個々の学習状況や病気の状態、障がいの特性、授業時数の制約等に応じた指導内容の精選、指導方法及び指導形態の工夫により、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けられるようにする。
- (2) 地域や関係機関、学校等の施設・設備の活用等連携の充実を図りながら学習環境の整備に努めるとともに、児童生徒が主体的に学習に取り組む体験的な学習活動の充実を図る。

福島県立会津支援学校 竹田校
(病弱・虚弱教育)



令和7年度 学校経営・運営ビジョン

教育目標

児童生徒一人一人の病気や障がいに応じた教育により、確かな学力を育み、自他を尊重する豊かな心や健やかな身体を養い、社会の変化と向き合いながら将来をより豊かに生きようとする調和のとれた人間の育成に努める。

経営方針

「地域の中で共に自己を磨き、希望をもって生き生きと学ぶことができる学校」をめざして

- ◎ 「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進に向け、地域や医療、家庭と連携を図り、児童生徒一人一人の病状と教育的ニーズに応じた個別最適化された学びの充実に努めます。
- 学習指導要領と「学校教育の重点」に基づき、ICT機器を効果的に活用し、「わかる授業」と「考え表現する力の育成」に努めます。
- 体験的、協働的な学びを通して、「豊かな心」と「健やかな体」の育成を目指します。
- 児童生徒の自立と社会参加に向けた意識を高め、将来の希望を実現できるように計画的・組織的に進路指導を行います。
- 小中学校、高等学校との連携を円滑にし、病気療養児の学習支援や教育相談の充実を図ることで、会津地区の病弱教育を推進します。

I 進んで学び、深く理解する授業づくりに努めます

- ① 学びへの興味・関心を高め、理解の特性に応じた個別最適な授業を行い、基礎的・基本的事項の定着を図ります。
- ② 対話と協働による学びを推進し、主体的に考え、表現する力の育成に努めます。
- ③ ICT機器の活用や地域との連携により、探究的に学ぶ力を高めます。

II 自分の強みをいかし、共に認め、支え合い、たくましく生きる力を育てます

- ① 学年間、学校間の合同学習を増やし、互いのよさをいかしながら、共に学び合う態度を育てます。
- ② 病気や障がいへの理解を深め、多様性と自他の個性を尊重し行動する態度を育てます。
- ③ 体験的な活動を充実させ、社会性と課題を解決しようとする態度を育てます。

III 関係機関との連携を図り、自立と社会参加に向けた教育を進めます

- ① 職場体験や社会体験とおし、地域の一員として生活する意識を育みます。
- ② 医療機関や福祉機関と情報を共有し、連携性のあつ適切な指導と支援を推進します。
- ③ キャリア・パスポート等を活用して、自己実現のために主体的に学ぶ態度や自立に向けた勤労観、職業観

IV 会津地区の病弱児童生徒の教育を支えます

- ① 病気療養児の連続した学びを保障するため、小中学校、高等学校と連携し、適切な学習支援、学習保障を行います。
- ② 来院児童生徒の相談を行い、医療と教育の連携を推進します。
- ③ 地域の教育関係者の研修支援や相談、情報提供を実施し、センタースタッフ的役割を果たします。

児童生徒と学校、地域のWell-beingの実現をめざします

- ① 児童生徒が安全で安心して学べる環境、教職員がやりがいと達成感をもって教育を行う学校を実現します。
- ② 教職員が高い倫理観と使命感で不祥事を防止し、家庭や地域社会とともにある学校を実現します。

「開かれた学校」をめざし、情報を積極的に発信していきます



5 教育課程

【小 学 部】

1 学部目標

- (1) 様々な学習や活動を通して基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けられるようにするとともに、学習したことを自主的に日常生活に活用しようとする意欲と態度を養う。
- (2) 自分の思いや考えを適切な表現により伝えることができるようにするとともに、状況や相手の気持ちを考えて行動しようとする態度と習慣を養う。
- (3) 自己の心身の状態に関心を持ち、健康で安全な生活を送ろうとする態度と習慣を養う。

2 教育課程編成上の基本方針

- (1) 小学校に準ずる教育を受ける病弱児である児童を対象とする通常教育課程を編成する。
- (2) 教育目標の達成を目指し、法令及び特別支援学校学習指導要領及び小学校学習指導要領に基づき、編成する。
- (3) 小学部の教育課程は、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語の各教科、特別の教科である道徳（以下、「道徳科」という。）、外国語活動、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間をもって編成する。
- (4) 各教科等においては、基礎的・基本的な内容が習得し、思考力、判断力、表現力等の育成を図ることができるよう、教科横断的な視点で教育課程を編成する。また、個々の児童に応じて学習内容を精選すること、指導方法や学習形態をすること、ICT 機器を効果的に活用すること等により、個別最適化された学びを保障できるよう編成する。
- (5) 学校の諸条件を考慮し、適切な指導体制と教育環境の整備に努め、体験的な学習の充実を図ることができるよう適切に編成する。
- (6) 生活に必要な知識及び技能を身に付け、周囲の人々と協調しながらよりよい生活を送ることができるよう、キャリア教育の視点のもとに編成する。
- (7) 他校の児童や地域の人々との交流及び共同学習について、指導目標を明確にするとともに計画的に実施し、協働的な学びを通して豊かな人間関係が形成できるように編成する。

3 当該年度に改善又は努力する事項

- (1) 個々の児童に応じて適切に学習内容を精選し、ICT 機器を効果的に活用したり教材や指導方法、指導形態を工夫したりして基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。
- (2) 個々の児童に配慮しながら、様々な体験的な学習の機会や集団活動を意識した他学部や他校との交流及び共同学習の機会を工夫して設定し、社会性やコミュニケーション能力の伸長及び生活経験の拡充を図る。

4 年間授業日数

学期／学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	備 考
第1学期	71日	71日	71日	71日	71日	71日	
第2学期	82日	82日	82日	82日	82日	82日	
第3学期	49日	49日	49日	49日	49日	43日	3／12卒業式
計	202日	202日	202日	202日	202日	196日	

【中 学 部】

1 学部目標

- (1) 様々な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図りながら、自己の目指す進路の実現に向けて努力する力を養う。
- (2) 校内外での様々な活動を通して他者とかかわる経験を重ね、自分の将来の生活を考える力を養う。
- (3) 自己の心身の状態や特性を理解し、健康で安全な生活を送るための知識と態度を養う。

2 教育課程編成上の基本方針

- (1) 中学校に準ずる教育を受ける病弱児である生徒を対象とする通常の教育課程を編成する。
- (2) 教育目標の達成を目指し、法令及び特別支援学校学習指導要領及び中学校学習指導要領に基づき、学校の環境、生徒の病気の状態や障がいの特性及び発達の段階を十分に踏まえた編成に努める。
- (3) 中学部の教育課程は、必修教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の各教科）と道徳科、特別活動、自立活動並びに総合的な学習の時間をもって編成する。
- (4) 各教科における基礎的・基本的な内容が習得できるよう生徒の病気の状態や障がいの特性及び発達の段階に応じて精選するとともに、指導方法の工夫やＩＣＴ機器等の活用により個別最適化された学びを保障し、学習への興味関心を高め、主体的に学習に取り組む態度や思考力、判断力、表現力等の育成を図ることができるよう編成する。
- (5) 学校の諸条件を考慮し、適切な指導体制を整え、問題解決能力の向上に努めるとともに、生徒の実態を的確に把握し、教育効果を高めることができるよう適切に編成する。
- (6) キャリア教育全体計画をもとに、生徒一人一人が自らの進路や将来の生き方について、主体的に考え、生きる力や自己肯定感を高めることができるよう編成する。
- (7) 交流及び共同学習や体験的な学習において指導目標を明確にするとともに計画的に実施し、協働的な学びを通して経験の不足の改善を図り、より豊かな人間関係の形成と社会性の向上を図ることができるよう編成する。

3 当該年度に改善又は努力する事項

- (1) 教科指導においては、一人一人の教育的ニーズに応じて保護者と確認しながら指導方針を十分に検討する。その際、教科の特性に応じた自立活動の視点を取り入れ、ＩＣＴ機器を効果的に活用するなど生徒の学びの充実に向け工夫した授業を展開する。
- (2) 個々の生徒に配慮しながら、様々な体験的な学習活動や交流及び共同学習の機会を段階的・計画的に設け、卒業後や転出後の生活についてより具体的に考えられるようにする。

4 年間授業日数

学期／学年	第1学年	第2学年	第3学年	備 考
第1学期	71日	71日	71日	
第2学期	82日	82日	82日	
第3学期	49日	49日	43日	3／12卒業式
計	202日	202日	196日	

6 年間授業時数

【小学部】

学 年 領域・教科		1	2	3	4	5	6
各教科	国 語	310	320	250	248	175	175
	社 会			75	98	100	110
	算 数	142	180	175	178	175	177
	理 科			95	107	105	105
	生 活	110	110				
	音 楽	70	75	61	60	52	50
	図画工作	70	75	61	61	52	50
	家 庭					60	55
	体 育	40	40	40	40	40	38
	外 国 語					75	75
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35
自 立 活 動		70	70	70	70	66	65
総合的な学習の時間				78	78	75	75
外 国 語 活 動				35	35		
計		880	940	1010	1045	1045	1045
学 級 編 制		1					

【中学部】

学 年 領域・教科		1	2	3
必修教科	国 語	143	140	106
	社 会	108	105	145
	数 学	142	105	145
	理 科	108	140	145
	音 楽	45	42	35
	美 術	45	41	35
	保健体育	40	40	39
	技術・家庭	75	70	35
	外 国 語	140	140	145
特別の教科 道徳		35	35	35
特別活動	学級活動	36	39	35
自 立 活 動		83	78	78
総合的な学習の時間		54	50	70
計		1137	1045	1045
学 級 編 制		1		

7 日課表

【小 学 部】

時 程	月	火	水	木	金
8:20	登 校				
	準 備				
8:25 8:35	短学活				
1 8:35 9:20					
	休み時間				
2 9:35 10:20					
	休み時間				
3 10:35 11:20					
	休み時間				
4 11:35 12:20					
	昼 食				
13:20 13:30	清 掃				
5 13:35 14:20					
14:20 14:30	休み時間				短学活
6 14:35 15:20					下 校
15:20 15:25	短学活(帰りの会)				
15:30	下 校				

※(1,2,3年生の5校時の場合は、14:20～14:30短学活、14:35分下校)

【中 学 部】

時 程	月	火	水	木	金
8:20	登 校				
	準 備				
8:25 8:35	短学活				
1 8:35 9:25					
	休み時間				
2 9:35 10:25					
	休み時間				
3 10:35 11:25					
	休み時間				
4 11:35 12:25					
	昼 食				
13:20 13:30	清 掃				
5 13:35 14:25					
14:25 14:35	休み時間				短学活
6 14:35 15:25					下 校
15:25 15:35	短学活(帰りの会)				
15:40	下 校				

8 年間学校行事予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	火 学年始休業	木 教職員健診 尿検査①	日 第9週	火	金 夏季休業	月
2	水	金	月	水 ALT訪問授業	土	火
3	木	土 憲法記念日	火 歯の衛生講話	木	日	水 栄養講話
4	金	日 みどりの日	水	金 第1学期保護者会	月	木
5	土	月 こどもの日 第5週	木 (小6) 修学旅行前健康診断	土	火	金
6	日 第1週	火 振替休日	金	日 第14週	水	土
7	月 令和7年度 着任式 始業式 入学式	水 (小、中1) 心電図検査	土	月 評価週間 ※午後放課	木	日 第19週
8	火 身体測定	木 創立記念日	日 第10週	火	金	月
9	水	金 歯科検診	月 (中) 職場見学・体験	水	土	火
10	木	土	火 ↓	木	日	水
11	金	日 第6週	水	金 ↓ 薬物乱用防止講話	月	木 山の日
12	土	月 耳鼻科検診	木 (小6) 修学旅行	土	火	金 (中3) 修学旅行前健康診断
13	日 第2週	火	金 ↓	日 第15週	水	土 学校閉庁日
14	月	水 第1回避難訓練	土	月	木	日 学校閉庁日 第20週
15	火	木 尿検査②	日 第11週	火	金	月 学校閉庁日 敬老の日
16	水	金 (小) 自然体験学習	月	水	土	火
17	木 (小6、中3) 全国学力調査 内科検診	土	火	木	日	水
18	金	日 第7週	水 (中) 期末テスト ※中は18日午後放課	金 第1学期終業式	月	木
19	土	月 個別の指導計画説明週間 (~23) ※午後放課	木 ↓	土	火	金 (小) 遠足
20	日 第3週	火	金	日 第16週	水	土
21	月 (児童生徒会総会)	水	土	月 海の日	木	日 第21週
22	火	木	日 第12週	火 夏季休業	金	月
23	水	金 交通安全教室	月 (中3) 三者面談週間 (~27)	水	土	火 秋分の日
24	木	土	火 学校保健委員会	木	日	水 第17週 (中3) 修学旅行
25	金 PTA総会 保護者会 学 級懇談会	日 第8週	水	金	月 ↓	木 ↓
26	土	月	木	土	火 第2学期始業式	金 ↓
27	日 第4週	火 小児科病棟連絡会	金 ↓ (小学部交流学習)	日	水 身体測定	土
28	月 防犯教室	水	土	月	木	日 第22週
29	火 昭和の日	木 尿検査③	日 第13週	火	金	月
30	水 眼科検診	金 (中1、3) 知能検査	月	水	土	火
31		土		木	日 第18週	
授業 日数	17	19	21	14 1学期計 71	4	20

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	水	土 竹田フェスティバル	月	木 元 旦	日 第39週	日 第43週
2	木	日 第27週	火	金	月	月
3	金	月 文化の日	水	土	火	火
4	土	火 振替休業日	木	日 第35週	水	水 県立学校前期選抜
5	日 第23週	水 歯科検診	金 第2学期授業参観・保護者会	月 冬季休業	木 (中1、2)期末テスト ※中1、2は5日午後放課	木
6	月	木	土	火	金	金
7	火 小児科病棟連絡会	金 感染症等予防講話	日 第32週	水	土	土
8	水	土	月 評価週間 ※午後放課	木 第3学期始業式	日 第40週	日 第44週
9	木	日 第28週	火	金 身体測定	月 個別の指導計画報告週間 (~13) ※午後放課	月 卒業式予行
10	金	月 (中)職場見学・体験	水	土	火	火
11	土	火	木	日 第36週	水 建国記念の日	水
12	日 第24週	水 第2回避難訓練	金	月 成人の日	木	木 卒業証書授与式
13	月 スポーツの日	木	土	火	金	金
14	火	金	日 第33週	水	土	土
15	水	土	月	木 (中3)期末テスト ※中3は15日午後放課	日 第41週	日 第45週
16	木	日 第29週	火	金	月 (児童生徒会総会)	月 前期選抜合格発表
17	金	月	水	土	火 学校保健委員会	火
18	土	火	木	日 第37週	水	水
19	日 第25週	水 (中)期末テスト ※中は19日午後放課	金	月	木 評価期間 ※午後放課	木
20	月	木	土	火	金	金 春分の日
21	火	金 (小学部交流学習)	日 第34週	水	土	土
22	水	土	月	木	日 天皇誕生日 第42週	日
23	木	日 勤労感謝の日 第30週	火	金	月 天皇誕生日	月 令和7年度 修了式
24	金 竹フェス予行	月 振替休日	水 第2学期終業式	土	火	火 学年末休業 後期面接等
25	土	火 三者面談週間 (~28) ※午後放課	木 冬季休業	日 第38週	水	水 後期選抜合格発表
26	日 第26週	水	金	月	木	木
27	月 学校公開週間 (~10/31)	木	土	火 小児科病棟連絡会	金	金
28	火	金	日	水	土	土
29	水	土	月	木		日
30	木	日 第31週	火	金 新入学生保護者説明会		月 (離任式)
31	金		水	土		火
	22	18	18	16	18	在 15 卒 9
			2学期計 82			3学期計 在 49 卒 43 累計 在 202 卒 196

9 教職員組織

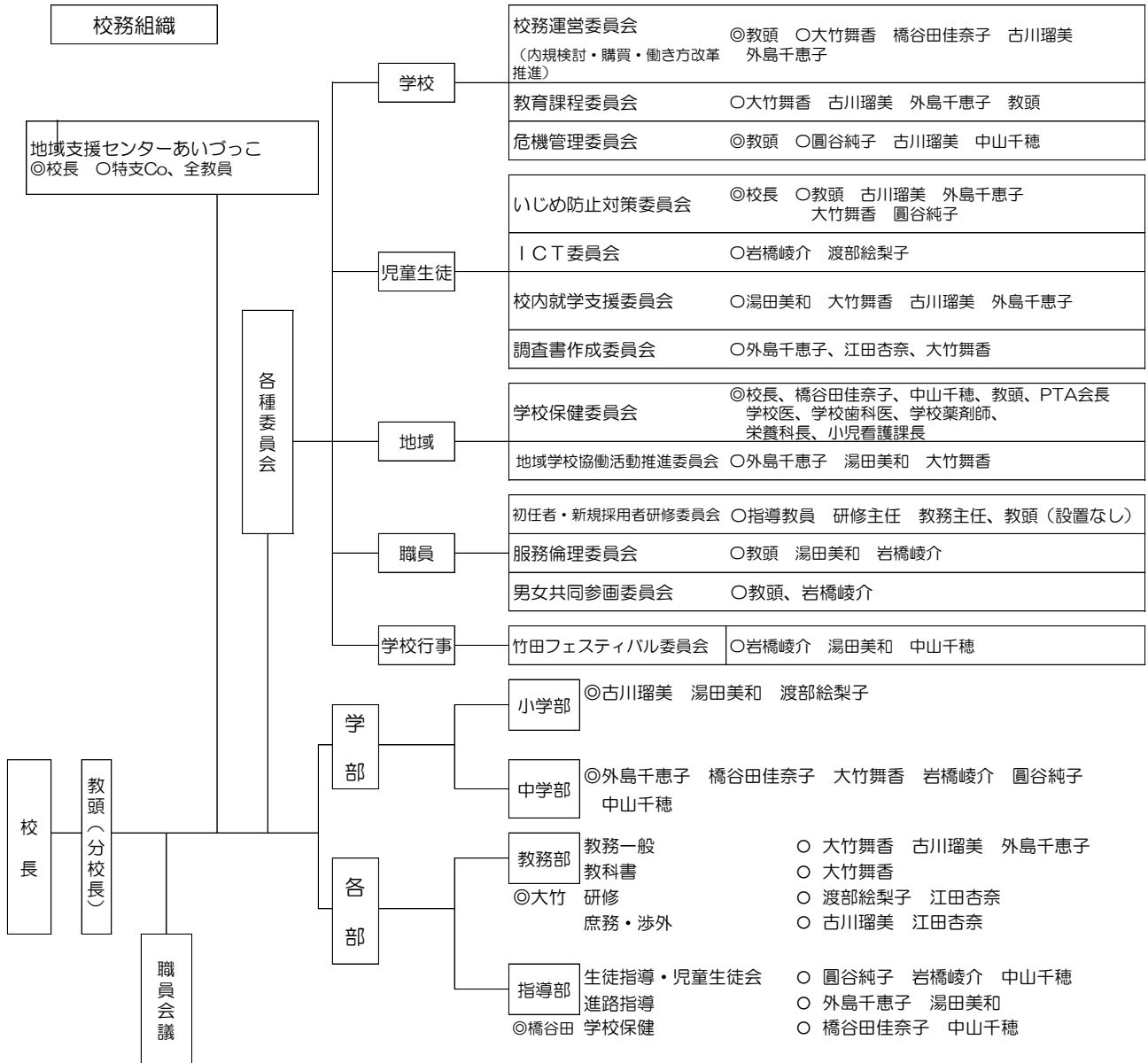
(1) 教職員数

区 分	校 長	教 頭 (分校長)	教 諭	養 護 教 諭	看 護 師	講 師	事 務 長	主 査	主 事	用 務 員	介 助 員	ス ク ー ル サ ポ ー ト ス タ ッフ	小 計	校 医	歯 科 医	薬 剤 師	小 計	合 計
	1	1	8			2						1	13	1	1	1	3	16

(2) 教職員一覧

No.	職 名	氏 名	所属学部	校 務 分 掌	現校 勤務 年数
1	校 長	猪 俣 康 彦			2
2	教 頭 (分校長)	佐 々 木 文 枝			1
3	教 諭	橋 谷 田 佳 奈 子	中学部	保健主事、食育コーディネーター 指導部、学校保健委員会 他	6
4	教 諭	湯 田 美 和	小学部	特別支援教育コーディネーター 指導部、校内就学支援委員会 他	2
5	教 諭	古 川 瑠 美	小学部 (学部主事)	教務部 教育課程委員会 他	9
6	教 諭	外 島 千 恵 子	中学部 (学部主事)	進路指導主事、教務部、指導部 地域協働活動推進委員会 他	4
7	教 諭	渡 部 絵 梨 子	小学部 (1～6年担任)	研修主任、教務部 他	1
8	教 諭	大 竹 舞 香	中学部	教務主任 教務部、教育課程委員会 他	6
9	教 諭	江 田 杏 奈	中学部 (中1～3年担任)	教務部、調査書作成委員会 他	2
10	教 諭	岩 橋 峻 介	中学部	指導部、ICT 委員会 竹田フェスティバル委員会 他	1
11	講 師	圓 谷 純 子	中学部	指導部、危機管理委員会 他	6
12	講 師	中 山 千 穂	中学部	指導部 竹田フェスティバル委員会 他	1
13	ス ク ー ル サ ポ ー ト ス タ ッフ	室 井 明 美			4

(3) 校務組織・分掌



学級担任および学部所属

小 学 部		
学級	担 任	学部所属
1～6 年	渡部絵梨子	古川瑠美 湯田美和

中 学 部		
学級	担 任	学部所属
1～3 年	江田杏奈	橋谷田佳奈子 外島千恵子 大竹舞香 岩橋峻介 圓谷純子 中山千穂

主事・主任等

教務主任	大竹舞香
小学部主事	古川瑠美
中学部主事	外島千恵子
保健主事	橋谷田佳奈子
研修主任	渡部絵梨子
進路指導主事	外島千恵子
特別支援教育CO	湯田美和
食育CO	橋谷田佳奈子
学校図書	橋谷田佳奈子

領域・教科

教科	担当	教科	担当	教科	担当	教科	担当
国語	外島 千恵子	理科	岩橋 峻介	技術	江田 杏奈	特別活動	中山 千穂
社会	中山 千穂	音楽	橋谷田 佳奈子	家庭	橋谷田 佳奈子	自立活動	湯田 美和
算数・数学	渡部 絵梨子	図工・美術	江田 杏奈	道徳	渡部 絵梨子	総合	外島 千恵子
外国語活動・外国語	大竹 舞香	体育・保健体育	圓谷 純子	生活	古川 瑠美		

10 児童・生徒の現況

(1) 在籍児童・生徒数

学 部			小 学 部							中 学 部				合計	学級数	
学 年			1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計			
形 態	通 常	男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	小	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	重 複	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※ 重複障がい学級はなし

(2) 通学形態別児童・生徒数

学 部			小 学 部							中 学 部				合計
学 年			1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
通 学 形 態	通 常	自 宅	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
		病 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 複	自 宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		病 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 出身地別児童・生徒数

出身地	会津若松市	会津美里町
小学部	0	0
中学部	1	1

(4) 病類別児童・生徒数

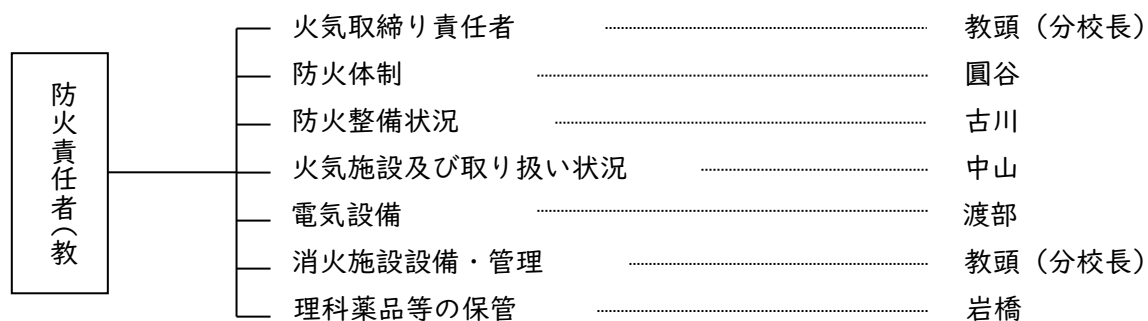
疾 病 名		新生物	内分泌・ 栄養及び 代謝疾患	精神及び 行動の障 がい	神経系の 疾患	循環器系 の疾患	呼吸器系 の疾患	先天性奇 形及び染 色体異常	その他
小学部	男								
	女								
中学部	男	1		1	1				
	女								
計		1		1	1				

(5) 卒業生の進路（令和6年度）

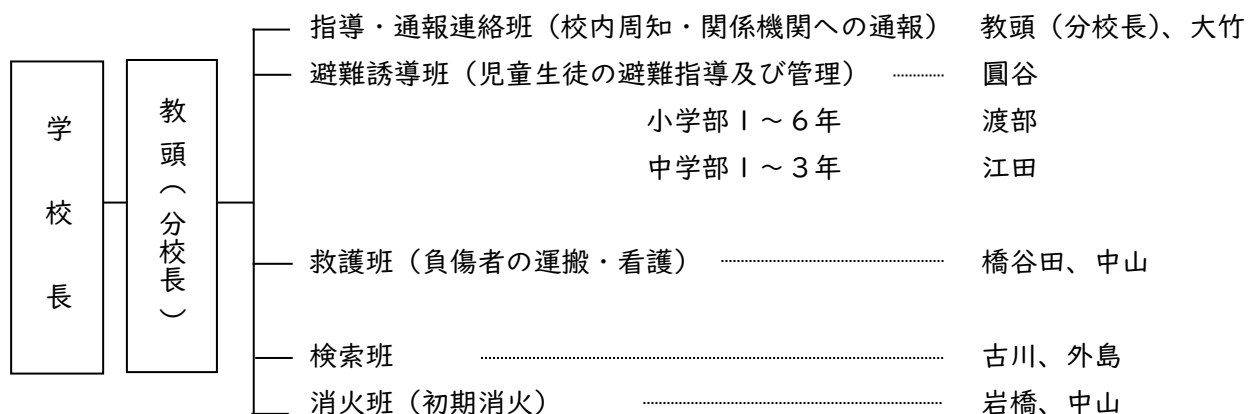
進 路	県立高校		私立高校	県立特別支援学校 高等部	施設
	全日	定時	通信		
人 数	0	0	0	1	0

II 防火体制計画

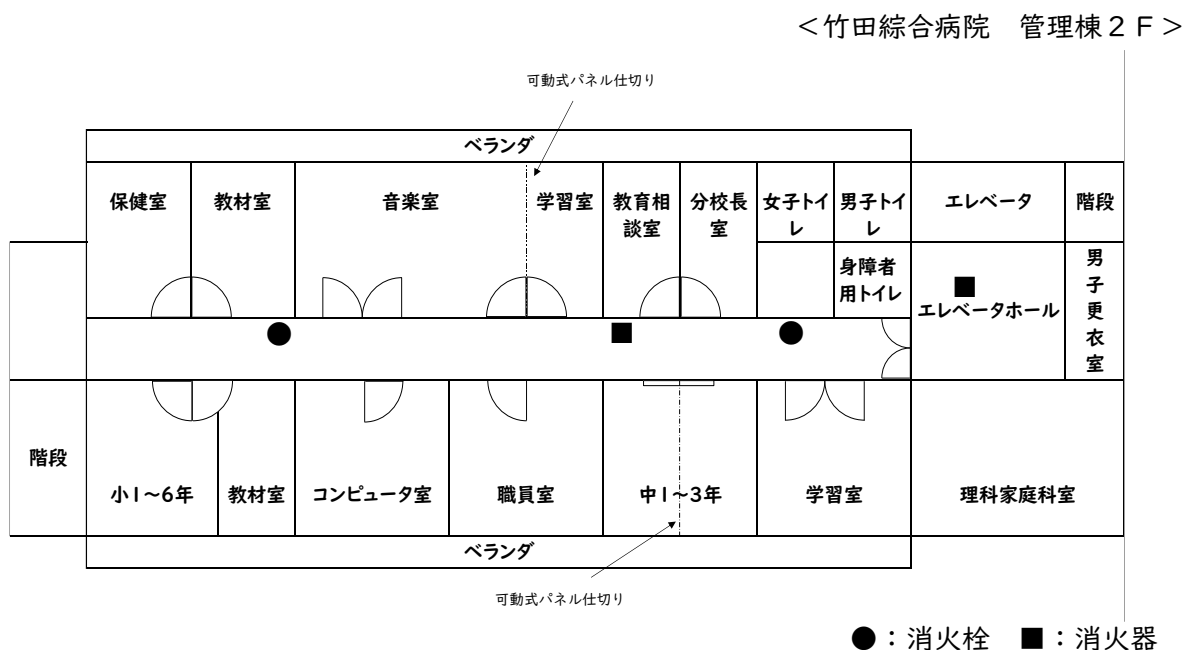
(1) 防火管理組織



(2) 自衛消防組織



(3) 防火施設配置



Ⅱ PTAの沿革・代表役員名

昭和53年12月15日

福島県立須賀川養護学校

竹田分校父母と教師の会設立

	初代会長
昭和54年～	会 長
昭和55年～	//
昭和56年～	//
昭和57年～	//
昭和58年～	//
昭和59年～	//
昭和60年～	//
平成 元年～	//
平成 2年4月1日	

大 竹 五 郎
大 関 欣 三
道 明 清 雄
高 塚 道 雄
花 見 悦 雄
佐 藤 貞 光
福 西 伊兵衛
小 林 洋 一
湯 浅 誠

福島県立須賀川養護学校竹田分校から
福島県立会津養護学校竹田分校となる。

平成 4年～	//
平成 7年～	//
平成10年～	//
平成12年～	//
平成13年～	//
平成14年～	//
平成16年～	//
平成17年～	//
平成18年～	//
平成19年～	//
平成20年～	//
平成21年～	//
平成22年～	//
平成23年～	//
平成24年～	//
平成26年～	//
平成28年～	//
平成29年4月1日	

歌 川 健 一
遠 藤 谷 吉
近 藤 ゆき枝
石 橋 襄
三津谷 和 史
安 齋 春 美
丹 藤 恒 代
佐々木 しげ子
吉 原 尚 子
長谷川 里 香
小 端 真 理
渡 部 朝 美
鴻 巣 幸 子
渡 部 朝 美
大 橋 千 明
猪 俣 美奈子
原 智 美

福島県立会津養護学校竹田分校から
福島県立会津支援学校竹田校となる。

平成29年～	//
平成30年～	//
平成31年～	//
令和 2年～	//
令和 3年～	//
令和 4年～	//
令和 5年～	//
令和 6年～	//

藤 本 貴 子
安 中 祐 治
佐 藤 睦 子
藤 本 貴 子
芳 賀 政 明
信 野 光 子
大 田 康 子
齋 藤 絵 美

令和 7年～

//

ホーヴィネン ヤナ